

東白川村 美しい村づくり 委員会

第三回

- 場所：役場 3 階会議室
- 時期：平成 28 年 5 月 10 日 19：00～21：30
- 参加者：委員 5 名 行政 5 名

①【東白川村がんばる地域補助金について】

どのような内容にするか話し合いが行なわれた。

<対象>

- ・村に関わるすべての人達（住民）
- ・個人…1 人に対しては対象として設定しづらい。
団体…任意団体が好ましいが、既存の団体も対象とする。
- ・イベントやお祭り、人づくりなど対象は幅広くする。

▼長野県阿智村のように住民では気付かない地域の魅力を、よそから来た人が引き出すという事例があり、感銘を受けた。

<募集方法>

- ・CATV、チラシ
- ・交付金に関する応募要項を作成し PR を行う。

<上限>

- ・予算が 100 万円ならば 4 団体に 25 万円ずつはどうか。
- ・1 団体 5～10 万円位でどうか。
- ・1 団体に対して出せる金額の上限を作っておいたほうがいいのでは。
- ・応募される活動内容や規模にもよるため、随時応募者と相談をして、委員で金額を設定してはどうか。

⇒話し合いの結果、1団体の補助上限を20万円とした。

<採択・条件>

- ・村のためになる活動であること
- ・村が元気になるような、幸せになるような活動であること
- ・個人的利益を目的とするような活動は△
- ・“新しい”活動であること
- ・活動の持続性に関しては、縛りは特にはないが、内容によっては成果が見られるのに数年間かかる活動もあると考えられる。
- ・既存の活動に関しても対象としては△だが、随時委員会でチェックを行うこととする。

⇒話し合いの結果、新規性がみられる活動を主に採用し、申請者によるプレゼンなどを通して委員会で検討をする方向でまとまった。

②【村の魅力や誇り】

村のモノやコトについて(知っていること・知りたいこと)意見だしを行なった。

<意見出し>

▼村の魅力や誇りに思うモノ・コト(知っていること)

- ・おもしろポイントマップに載っているところ以外にもまだ存在する。
- ・黒淵の星空が綺麗
- ・まっくらな夜の風景に感動する
- ・カエルや川の音で溢れる田んぼ
- ・夕日の綺麗な場所(白川町まで見渡せるポイントがある)
- ・鯉こく(別名:鯉汁)
- ・人と人との縦の繋がり
- ・年取り、節分などの年中行事を会する意味
- ・行事で出される食事の意味合い
- ・お祭りが多い
- ・講
- ・ハレの日
- ・お蚕

- ・ 朴葉寿司（昔は「朴葉寿司祭り」というものも存在した。）
- ・ 鹿肉が美味しい
- ・ 夜の歓楽街（昔は平地区がとても栄えていた）

▼ 村の魅力や誇りに思うモノ・コト（知りたいこと）

- ・ 景観めぐりをして、知らなかった魅力を発見したい
- ・ 曲坂の滝
- ・ 平地区の商店街（昭和 30 年代は 68 件が並び賑わっていた）
- ・ 星の見えるポイント
- ・ 熊肉を食べてみたい
- ・ 郷土食
- ・ 神様：他地域との比較

<出てきた意見からどのような活動が考えられるか>

- ・ 景観めぐり
- ・ イングレス ※1
- ・ 登山、トレッキング
- ・ トレイルラン ※2
- ・ 食について（郷土料理、家庭の味）
- ・ 神道について学ぶ

※1…スマートフォン向けのオンラインゲームで、世界各地に存在する「ポータル」を使って競い合う陣取りゲームのこと。

※2…森や山中、自然公園などの未舗装の道を走るスポーツのこと。以前は山岳マラソンなどと称され、山野を舞台に活動する一部の人たちがトレーニングを兼ねて登山道や林道を走っていた。

<出てきた活動案をより具体的に絞り込む>

出てきた意見から考えられる活動について話し合いを行ったが、どの意見も“次世代へ伝えたい”という思いが共通していました。

▼理念に繋がる共通キーワード

「村に誇りを持つ」 「人づくり」 「次世代へ伝える」

次回は多くの世代の人達が参加しやすい「教育」の面で、村の魅力を知る大人から、次世代を担う子ども達を対象にした学ぶ場づくり、そして伝える活動をテーマに話し合います。

